



京都市・ボストン市
交流の歩みパネル展

1959年から今日に至るまで、京都市とボストン市の間で深められてきた交流の軌跡をパネルで紹介いたします。

日程 ▶ 9月1日(火) - 10月31日(土)

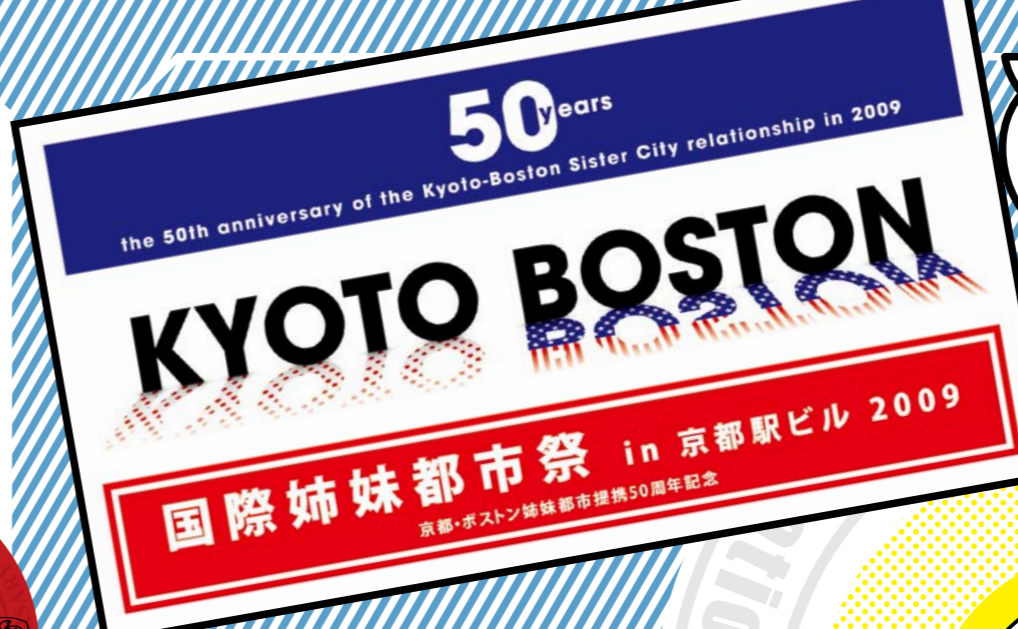
時間 10:30～ 映画終了まで 場所 東広場 北ピロティ



京都駅ビル
アメリカンミュージックライブ

京都軽音楽連盟の加盟グループが、JAZZ、カントリーからハワイアンまで、アメリカ音楽を演奏いたします。

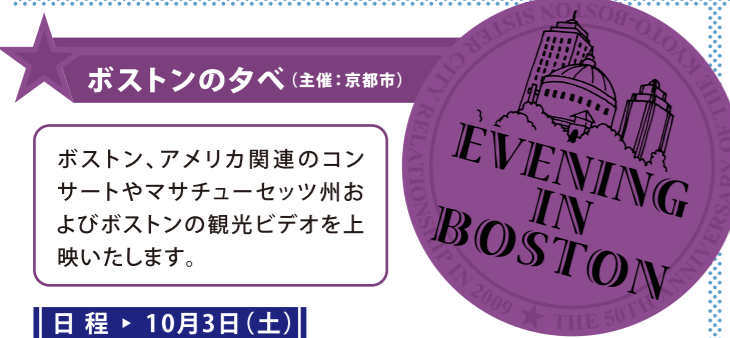
日程 ▶ 9月5日(土) 時間 12:00 - 16:45(予定) 場所 室町小路広場



京都から世界へ

京都市は現在、世界の9つの都市と姉妹都市盟約を結んでいます。国際観光都市である京都の玄関口、京都駅ビルでそれらの国と地域を紹介し、文化交流の場を提供するため、2007年より駅ビルの誕生月である9月に「国際姉妹都市祭 in 京都駅ビル」を開催しております。

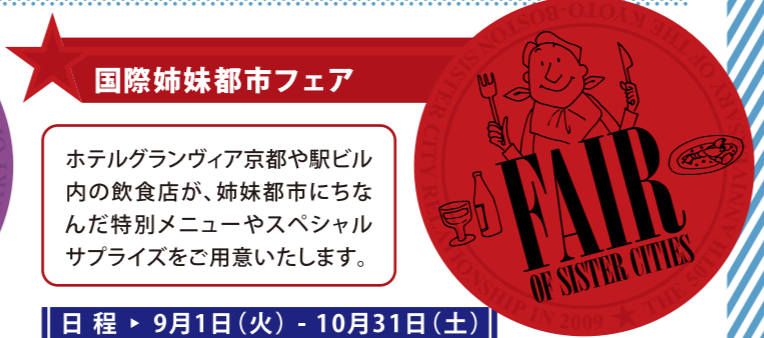
今年は京都とボストンが姉妹都市提携から50年の節目の年です。日本文化にも多大な影響を与えた「古き良きアメリカ」をテーマに、日本とアメリカのつながりを様々な文化を通して、紐解いていきます。



ボストンの夕べ (主催:京都市)

ボストン、アメリカ関連のコンサートやマサチューセッツ州およびボストンの観光ビデオを上映いたします。

日程 ▶ 10月3日(土) 時間 18:00 - 20:00(予定) 場所 室町小路広場



国際姉妹都市フェア

ホテルグランヴィア京都や駅ビル内の飲食店が、姉妹都市にちなんだ特別メニューやスペシャルサプライズをご用意いたします。

日程 ▶ 9月1日(火) - 10月31日(土) 場所 ホテルグランヴィア京都ほか京都駅ビル内協賛飲食店 ※ 期間は、各店により異なります。



駅ビルシネマ・姉妹都市映画祭



京都駅ビル
JAZZ
コンサート



京都駅ビル
アメリカン
ミュージックライブ



-展示-
古き良き
アメリカ



EVENING
IN BOSTON
ボストンの夕べ



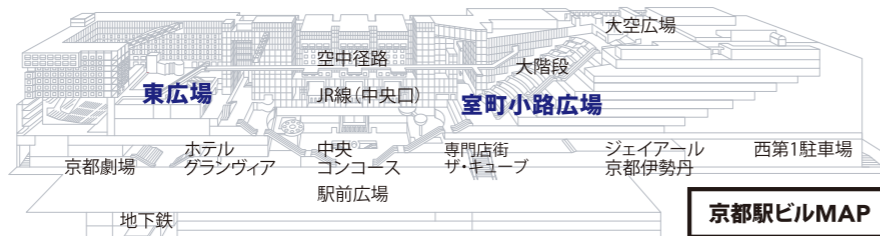
国際姉妹都市フェア

7つの間違い探し 下のイラスト、左と右で7つの違いがあります。答えは <http://www.kyoto-station-building.co.jp> にて



情報 お問い合わせ

駅ビルインフォメーション (10:00 - 19:00)
▶ Tel. 075-361-4401
<http://www.kyoto-station-building.co.jp>
主催: 京都駅ビル開発株式会社 / 後援: a-STATION



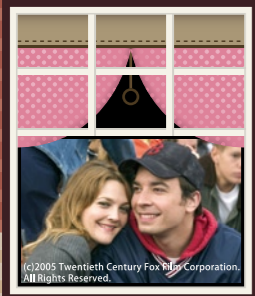
京都駅ビルMAP



駅ビルシネマ 姉妹都市映画祭

毎年、国際姉妹都市祭のために京都駅ビル東広場に特設映画館を設置、その土地の文化を知るに相応しいツールである映画を通して、京都市と姉妹都市盟約を結んだ都市の文化を感じる空間を創出します。

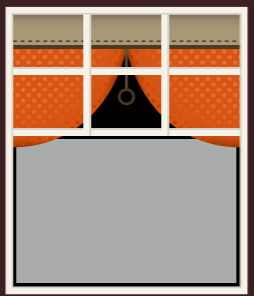
今年度は、アメリカ映画、ボストンを舞台にした映画や京都を舞台にした日本映画をはじめ、姉妹都市のある各国の作品約50本をラインナップ。映画を鑑賞いただくことで、その国の文化・歴史をより身近に感じていただきます。



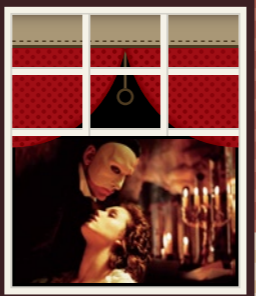
2番目のキス



夏時間の庭

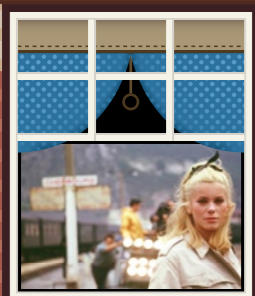


さらば、わが愛 覇王別荘



オペラ座の怪人

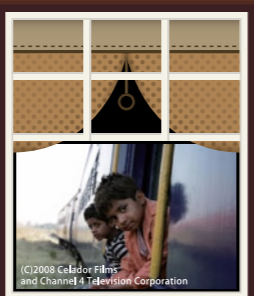
FILM FESTIVAL OF SISTER CITIES



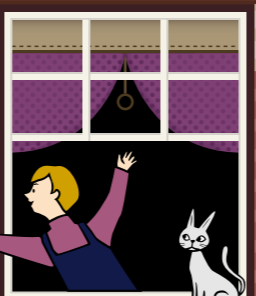
シェルブールの雨傘



ロシュフォールの恋人たち



スラムドッグ\$ミリオネア



オペラ座の怪人

「姉妹都市映画祭」

～京都市の9姉妹都市の国々を巡る国際映画祭～

アメリカ名画フェア

『地上より永遠に』『博士の異常な愛情』『愛情物語』『イーजीライダー』『オール・ザット・ジャズ』

アメリカ・ボストン名画フェア (ボストンが舞台の映画)

『2番目のキス』『グッド・ウィル・ハンティング/旅立ち』『ワンダーランド駅で』

フランス名画フェア

『エディット・ピアフ 愛の讃歌』『赤い風船』『白い馬』『夏時間の庭』※『クリーン』※『パリとどこか』『汚れた血』『地下鉄のザジ 完全修復ニュープリント版』※

ドイツ名画フェア

『ベルリン天使の詩』『都会のアリス』『ヒトラー最期の12日間』『グッバイ・レーニン!』

イタリア名画フェア

『甘い生活』『8½』『赤い砂漠』『イノセント』ほか

中国名画フェア

『さらば、わが愛 覇王別荘』『初恋のきた道』

メキシコ名画フェア

『天国の口、終りの楽園。』『アモーレス・ペロス』『パンズ・ラビリス』

東欧名画フェア (チェコ・ウクライナ・クロアチア)

『英国王、給仕人に乾杯!』『サラエボの花』『ライフ・イズ・ミラクル』『火の馬』ほか

(※)ロードショープログラム

「素晴らしきミュージカル映画の世界」

『オペラ座の怪人』『シェルブールの雨傘』『ロシュフォールの恋人たち』『ヘアスプレー』『ブラハ!』ほか

「鉄道と映画の旅」

本年度アカデミー賞作品賞受賞作『スラムドッグ\$ミリオネア』『タージリン急行』『すばらしい蒸気機関車』ほか

「映画に映る京都の心」

『羅生門デジタル完全版』『祇園囃子』『夜の河』『雁の寺』『利休』『細雪』ほか

上記タイトルは一例です。

日程 ▶ 9月1日(火) - 10月31日(土)

場所 ▶ 東広場 北ピロティ 席数 ▶ 76席

時間 ▶ 10:30 - 22:00 (終了時間は、プログラムによる)

料金 ▶ 当日1作品:1000円

< 前売:800円 RCS会員:900円 >

※ 但し一部ロードショープログラムは、当日一般1作品1800円 前売1300円

前売券販売 (2種) (9月上映有効券) (10月上映有効券) チケットぴあにて

9月上映有効券 10月上映有効券

8月10日(月) 販売開始 9月11日(金) 販売開始
9月1日(火) 販売終了 10月1日(木) 販売終了

上映タイトルは約50本を予定 ※ 詳細プログラムは <http://www.kyoto-station-building.co.jp> にて ※ 映画に関するお問い合わせ RCS 075-342-4050



京都駅ビル JAZZコンサート 「アーリー・アメリカンスクランブル」

古き良きアメリカを彷彿とさせる、プロのミュージシャンによる本格的なJAZZコンサートです。アーリー・アメリカンの音楽をお楽しみ頂きます。



青木 研 <http://sound.jp/banjo/>
本場アメリカをも驚嘆させた日本を代表するバンジョー・プレイヤー。

数多くのディキシーランド/スイングジャズの演奏家をはじめ、ブルーグラス、ジャグバンド奏者、管弦楽団、吹奏楽団等と共演し、若手No.1プレイヤーとして楽しげなステージングと華麗なテクニックで観客を魅了。米JAZZ BANJO MAGAZINE、オランダBN/DESTEM誌、ジャズ批評社「ジャズ批評」JAZZLIFE誌、管楽器パラダイス等で特集記事が組まれる。日本では数少ない、ソリストとして演奏することのできるバンジョー奏者。(ギター 吉原聡との共演)

日程 ▶ 10月4日(日) 料金 ▶ 入場無料

時間 ▶ 14:00-16:30(予定) 場所 ▶ 室町小路広場

出演 ▶ 青木研、スウィートホリワイアンズ、モダンタイムスビッグバンド
司会:クリス(FM COCOLO DJ)



スウィートホリワイアンズ

<http://www.sweet-strings.com/staff/band/>

男前過ぎる大阪の戦前風 弦楽器音楽家集団

1920~1940年代のハワイアン、スウィング、ラグタイム、ブルース、カリブソ、イタリアンミュージックに深く傾倒した演奏家集団が集まり2000年頃大阪で結成。彼らは当時のヴィルトオーソ(Sol Hoopii, Bennie Nawahi, Eddie Lang, Carl Kress, Geroge Van Eps, Frank Fazio, Giovanni Vicariなど)の奏法を研究、消化吸収し、様々な弦楽器を駆使して、独自の世界観で、編曲、演奏する。近年は、海外のフェスに招待されたり、世界の音楽家、演奏家と録音するなど、ワールドワイドな活動をしている。



モダンタイムスビッグバンド <http://sound.jp/moderntimes/>

アメリカの古き良き時代のなつかしいJazzサウンド。

中山正治ジャズ大賞 アマチュア部門大賞受賞。港町神戸に似合うJazzスタイルを追求し積極的な演奏活動。いろいろなバンドやオーケストラで経験を積んできたプレイヤーが集まっている。サウンドは古き良き時代のサウンドを求めて、主にCount Basie, Glen Miller, Benny Goodman, Duke Ellington, Woody Hermanなどのスイングジャズ、モダンジャズ等を演奏。



古き良きアメリカで光彩を放った雑貨やピンボールマシン、雑誌広告などを特集・展示いたします。

- 展示 - 古き良きアメリカ

日程 ▶ 9月1日(火) - 10月31日(土)

時間 ▶ 10:30 - 映画終了まで

場所 ▶ 東広場 北ピロティ



1960年代のピンボール

Gottlieb社製ピンボールマシンを設置
アメリカ発祥のゲームマシン。ハリウッド映画やドラマのシーンにも頻りに登場するなど、アメリカの文化の一つの象徴とも言える。



雑貨展示 ▶ 古き良き時代を思い起こさせる数々のアメリカ雑貨を展示

(右) Gottlieb社製 CROSS TOWN / 1966年
(下) Gottlieb社製 CENTRAL PARK / 1965年